



EX-TREND

Ver21

# Co品質管理

※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。

---

---

# 目次

---

---

1. 入力専用ライセンス	1
1-1 入力専用ライセンスの使用方法	1
1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する	3
1-3 入力専用ライセンスの終了	4
2. インデックス	5
2-1 インデックスを起動する	5
2-2 自社情報の入力	6
2-3 インデックスの画面構成	7
2-4 新規に工事を作成する	8
2-5 工事データを開く/閉じる	10
2-6 工事データのバックアップ/リストア	11
2-7 各種設定のバックアップ/リストア	15
3. 測定データの入力	18
3-1 コンクリート品質管理の起動	18
3-2 分類の追加	19
3-3 測定項目の条件確認	22
3-4 打設日毎の入力	25
3-5 テストハンマーを入力する	31
4. 成果の確認・編集	34
5. 成果の印刷	36
6. インデックスへの成果登録	37
7. 工事データの保存	39
7-1 工事データの保存	39
7-2 コンクリート品質管理の終了	39

## コンクリート中の塩分測定表

主 任 監 督 員	監 督 員	監 督 員

工 事 名 サンプル工事

受 注 者

測 定 者 氏 名	現場一郎				測 定 番 号	測 定 値 (%) 又は空欄	塩 分 量 (kg/m3)
立 会 者 氏 名	監 請						
測 定 年 月 日	2/2/21	時刻					
工 種	構造物躯体工						
コンクリートの種類	レディミクスト						
コンクリートの製造会社名	〇〇コンクリート						
混和剤の種類	AE剤	m3当り 使用量	1.000 kg				
セメントの種類	普通セメント						
単 位 水 量	150.000 kg/m3						
測 定 器 名	塩分試験器						
備考:測定結果に対する処置を講じた事項等を記入する。							

(注) 塩分濃度を(%)で測定した場合は、次式で塩分量を求める。

$$\text{塩分量 (kg/m3)} = \text{単位水量 (kg/m3)} \times \text{測定値} \div 100$$

# 1

## 入力専用ライセンス

EX-TREND武蔵を起動するには、プロテクトキー（ネット認証ライセンスやUSBプロテクト）が必要になります。

ネット認証ライセンス

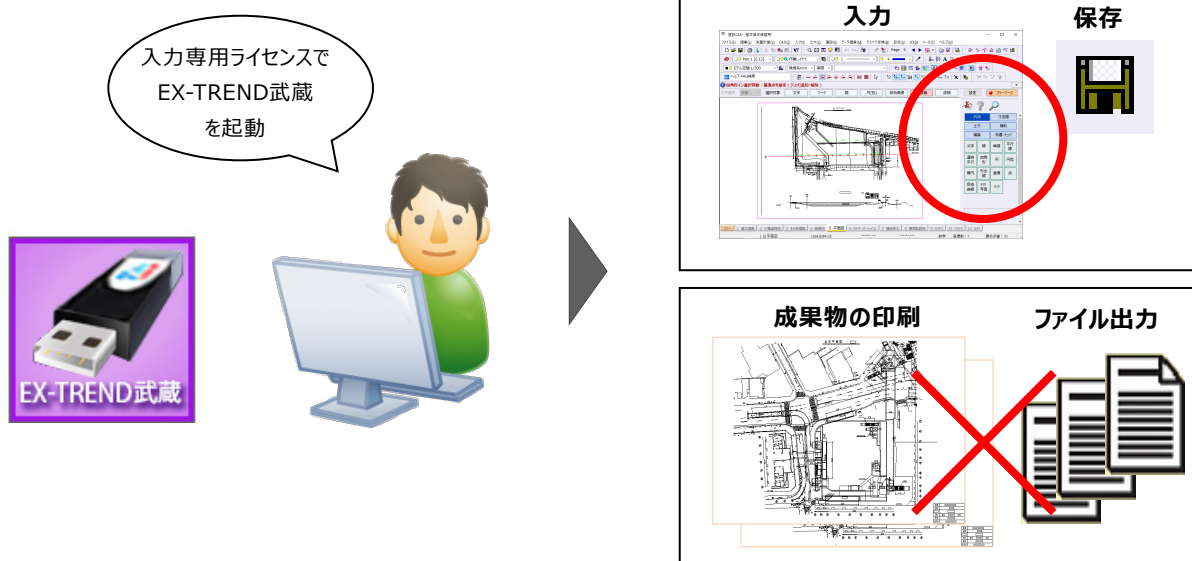


USBプロテクト



ほかの方がプロテクトキーを使用中で空きがないときでも「入力専用ライセンス」を利用することで、EX-TREND武蔵を起動して作業することができます。

ただし、「入力専用ライセンス」で起動しているときには、データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイルの出力ができませんのでご注意ください。



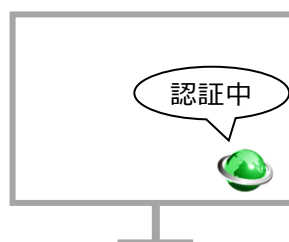
ここでは、「入力専用ライセンス」の使用方法と、起動・終了方法について説明します。

### 1-1 入力専用ライセンスの使用方法

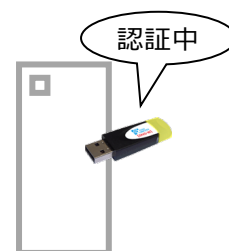
入力専用ライセンスを使用するために、親となるネット認証ライセンスやUSBプロテクトからライセンス情報を取得します。ライセンス情報の取得をおこなうには、ネット認証ライセンスを認証する必要があります。（USBプロテクトの場合はパソコンに装着する必要があります。）

- 1 ネット認証ライセンスの認証、または USB プロテクトの装着をおこないます。

1 ネット認証ライセンスの場合



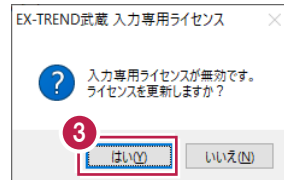
USBプロテクトの場合



② [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

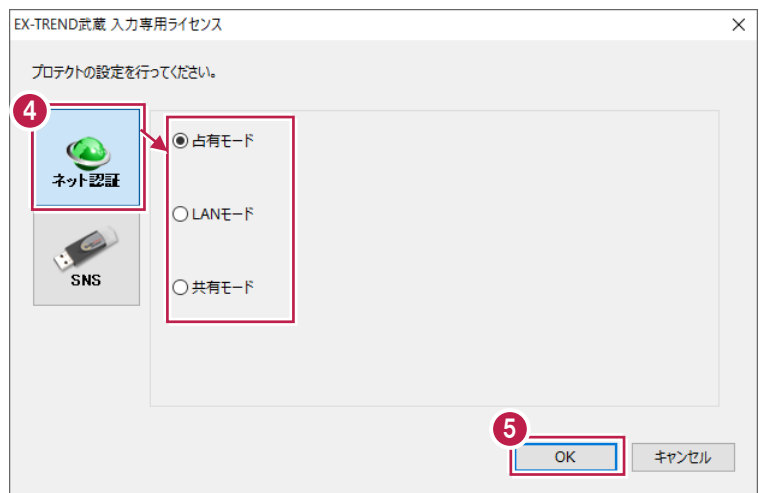


③ [はい] をクリックします。

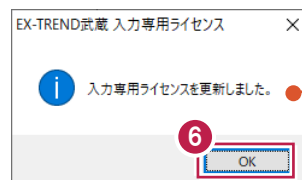


④ 取得するライセンスの種類を選択します。  
(右の例は、ネット認証ライセンスの占有モード  
を利用している場合です。)

⑤ [OK] をクリックします。

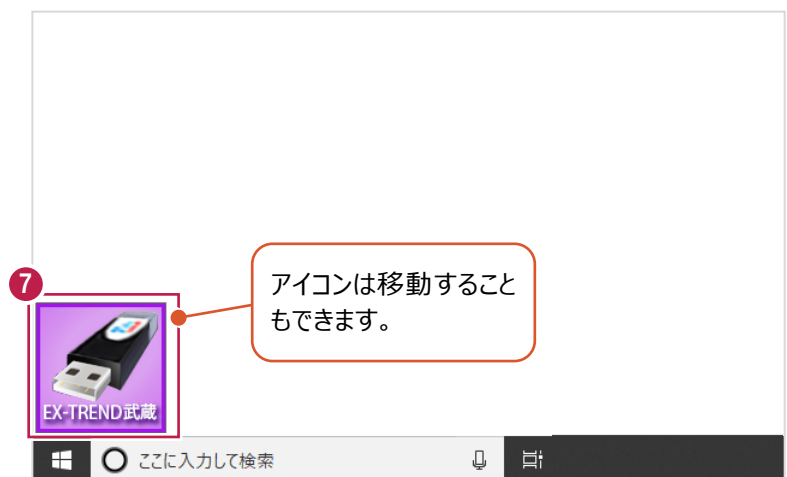


⑥ [OK] をクリックします。



ライセンス情報の取得が完了したら、  
ネット認証ライセンスの解除や  
USBプロテクトの取り外しをおこ  
なっても構いません。

⑦ デスクトップ左下に、入力専用ライセンス  
起動中のアイコンが表示されたことを確認しま  
す。



## 1-2 入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する

入力専用ライセンスを起動し、[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

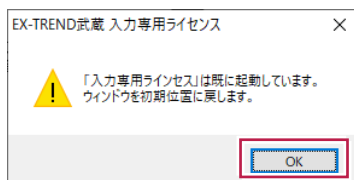
※はじめて入力専用ライセンスを使用する場合は、「1-1 入力専用ライセンスの使用方法」を確認してください。

- ① [入力専用ライセンス] をダブルクリックします。

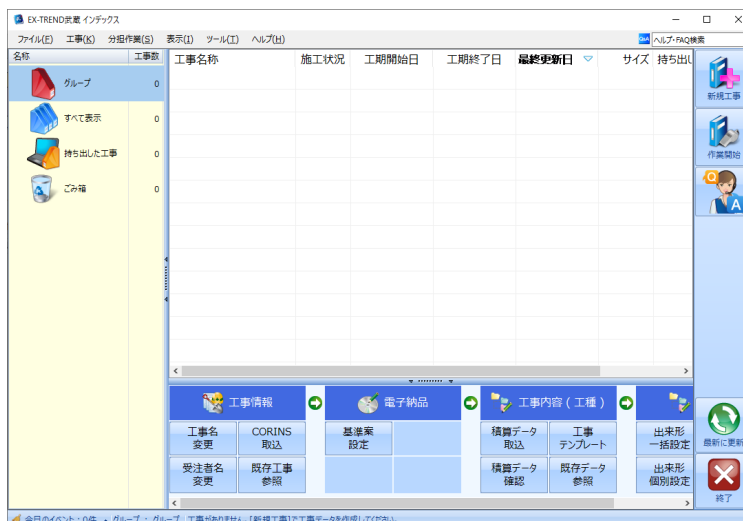


- ② デスクトップ左下に、入力専用ライセンス起動中のアイコンが表示されたことを確認します。

すでに入力専用ライセンスが起動中の場合は、以下のメッセージが表示されますので [OK] をクリックしてください。



- ③ [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。



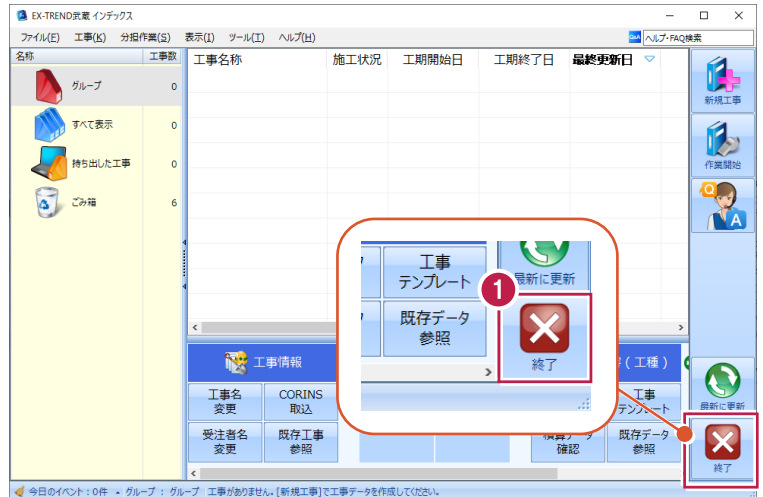
## 1-3 入力専用ライセンスの終了

入力専用ライセンスは、ネット認証ライセンスおよびUSBプロテクトとの同時利用ができません。

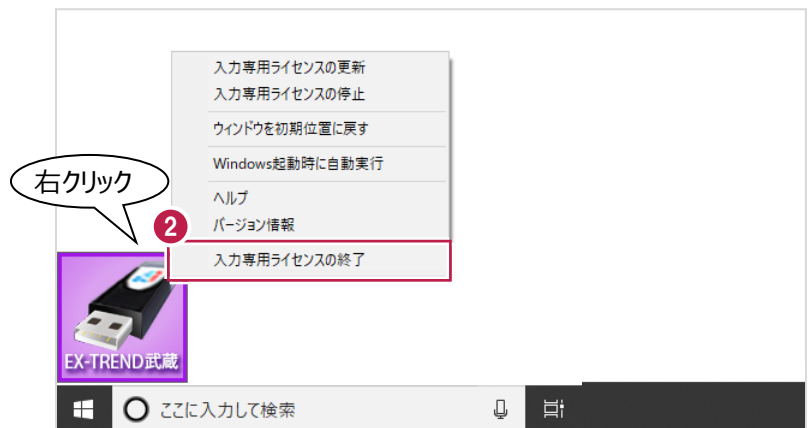
例えば、「ネット認証ライセンス」を認証している状態でも「入力専用ライセンス」を起動している場合は、「入力専用ライセンス」が優先され、印刷や出力などができなくなります。

ここでは、入力専用ライセンスの終了方法を説明します。

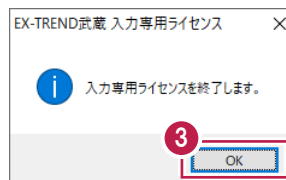
- 1 EX-TREND 武蔵を起動している場合は、  
[終了] をクリックします。



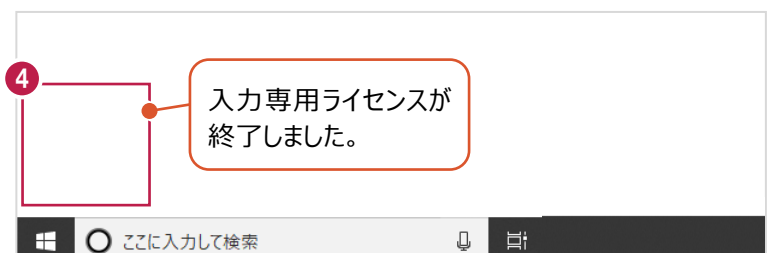
- 2 入力専用ライセンス起動中のアイコンを  
右クリックし、[入力専用ライセンスの終了] を  
クリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



- 4 入力専用ライセンス起動中のアイコンがなくなっ  
たことを確認します。



# 2

## インデックス

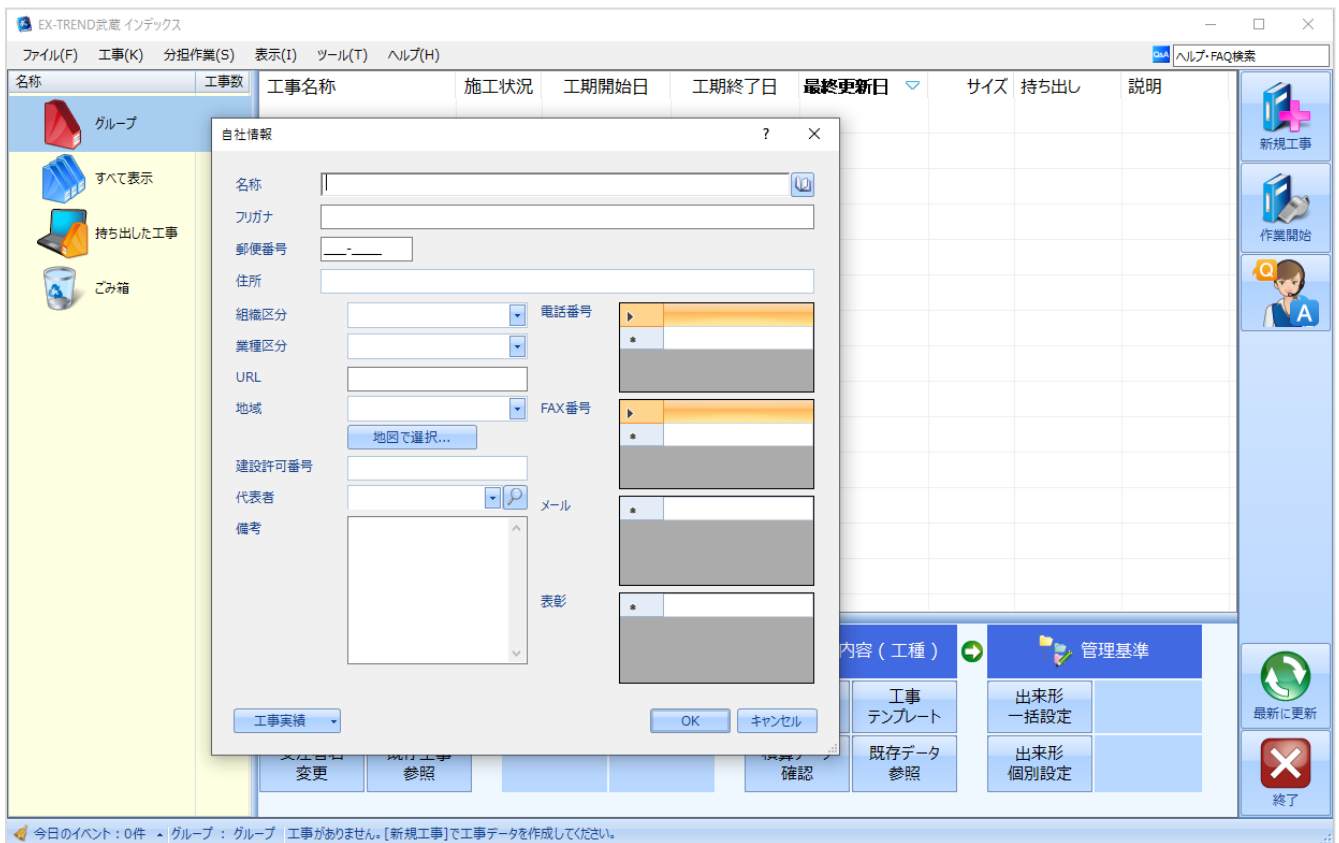
EX-TREND武蔵のデータは、[EX-TREND武蔵 インデックス] で工事ごとに管理します。

ここでは、インデックスを起動し、自社情報の入力、工事データの新規作成、バックアップの方法などについて説明します。

### 2-1 インデックスを起動する

[EX-TREND武蔵 インデックス] を起動します。

- 1 [EX-TREND 武蔵 インデックス] をダブルクリックします。





## 2-2 自社情報の入力

インデックス起動時に表示される自社情報を入力します。

- 1 名称（会社名）や住所、電話番号、地域などを入力します。

自社情報で入力した内容は、各プログラムの共通の情報として連動します。

例えば、[地域] は電子納品の要領・基準案などの初期設定として反映されます。

- 2 [OK] をクリックします。

自社情報

1

名称 福井コンピュータ建設株式会社

フリガナ

郵便番号

住所

組織区分

業種区分

URL

地域 福井県

建設許可番号

代表者

備考

電話番号

FAX番号

メール

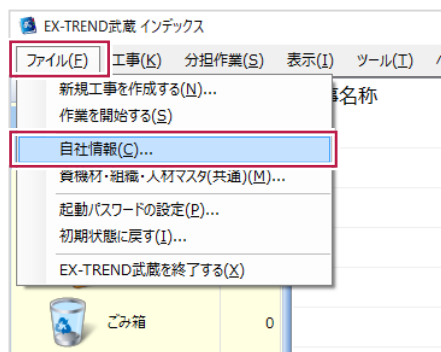
表彰

2

OK キャンセル

[キャンセル] で閉じた場合は、次回インデックス起動時に、自社情報ダイアログが表示されます。

自社情報を編集する場合は、メニューバーの [ファイル] をクリックし、[自社情報] からおこなってください。



## 2-3 インデックスの画面構成

インデックスの画面回りを説明します。



<p>① グループ一覧</p>	<p>工事をグループごとに管理します。グループは 5 階層まで作成可能です。右クリックして表示されるポップアップメニューで、追加・編集・削除できます。グループを選択すると、所属する工事が【工事一覧】に表示されます。</p>
<p>② 工事一覧</p>	<p>【グループ一覧】で選択中のグループ内の工事を一覧表示します。【表示】 - 【工事の表示方法】で、表示方法の切り替えができます。</p>
<p>③ アイコンバー</p>	<p>【新規工事】【作業開始】【QA】【最新に更新】【終了】のアイコンを表示します。【QA】では、お困りごとを検索することができます。</p>
<p>④ 工事の編集パネル</p>	<p>【工事情報】【電子納品】【工事内容（工種）】【管理基準】を編集するコマンドが用意されています。</p>
<p>⑤ ステータスバー</p>	<p>スケジュールに入力したイベントや、工事データの保存先などを表示します。</p>

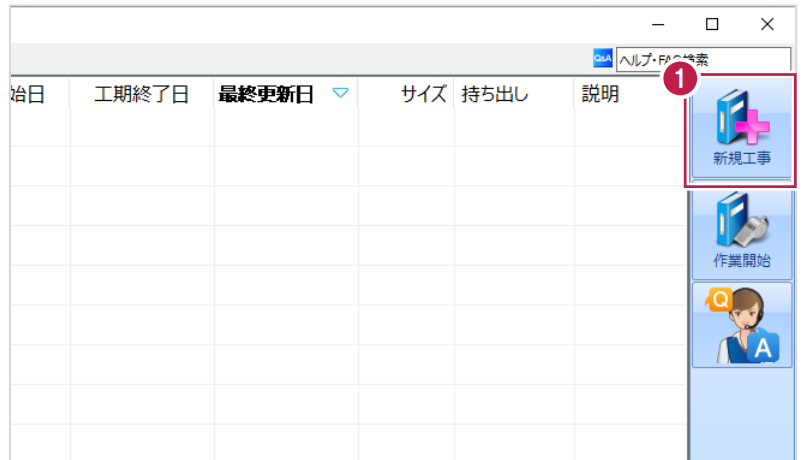
## 2-4 新規に工事を作成する

[新規工事] の [新しく工事を作成する] で、新規に工事を作成します。

① [新規工事] をクリックします。

グループを分けて管理する場合は、今から作成するデータを保管するグループを選択した状態で [新規工事] をクリックしてください。（作成したあとにグループを移動することもできます。）

名称	工事数	工事名称
グループ	0	
2018年度	0	
2019年度	0	



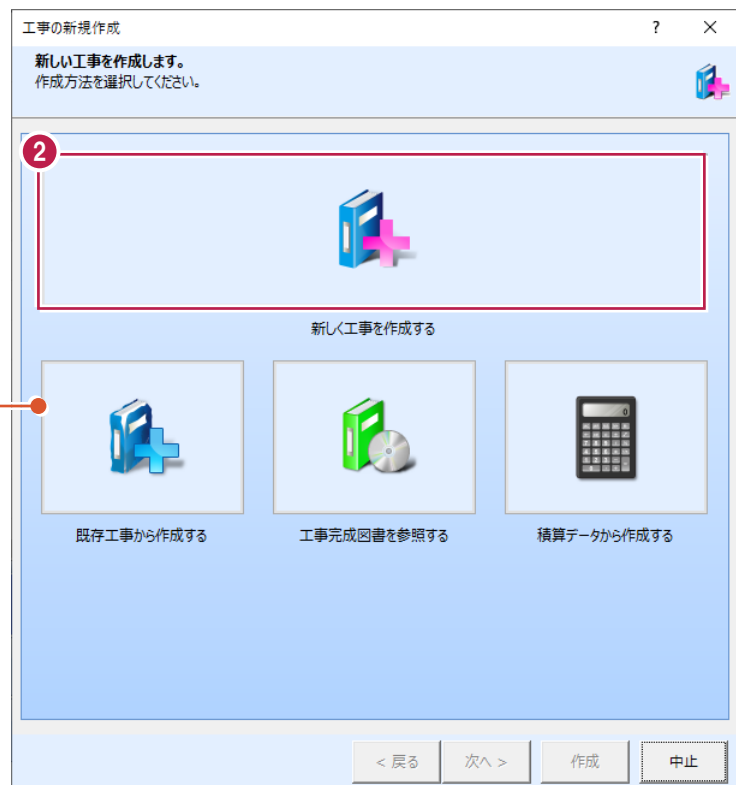
② [新しく工事を作成する] をクリックします。

その他の作成方法は以下です。

**【既存工事から作成する】**：  
毎年同じような工事がある場合などは、前年の既存工事を選択して作成してください。

**【工事完成図書を参照する】**：  
発注者からのデータや、以前の納品データなどがある場合に選択します。

**【積算データから作成する】**：  
積算データをお持ちの場合に選択します。（工事作成後に、積算データを読み込むことも可能です。）



- ③ [工事名称] を入力します。  
(必要に応じて、他の項目も入力します。)

ここでは、「サンプル工事」と入力します。

- ④ [電子納品を行う] をオフにします。

電子納品をおこなう場合は、[電子納品を行う] をオンにし、[要領・基準案の選択] をクリックして設定をおこなってください。

- ⑤ [作成] をクリックします。

工事名称などの情報を変更する場合は、工事データで右クリックし、[工事情報] をクリックしてください。

右クリック

工事名称	施工状況	工期開始日
サンプル工事	着工前	2019/09/13

- 作業開始
- 工事情報...
- 工事内容...
- 電子納品要領・基準案の選択...
- 分担作業の追加...

工事が作成されます。

EX-TREND 武蔵 インデックス

ファイル(E) 工事(K) 分担作業(S) 表示(I) ツール(I) ヘルプ(H)

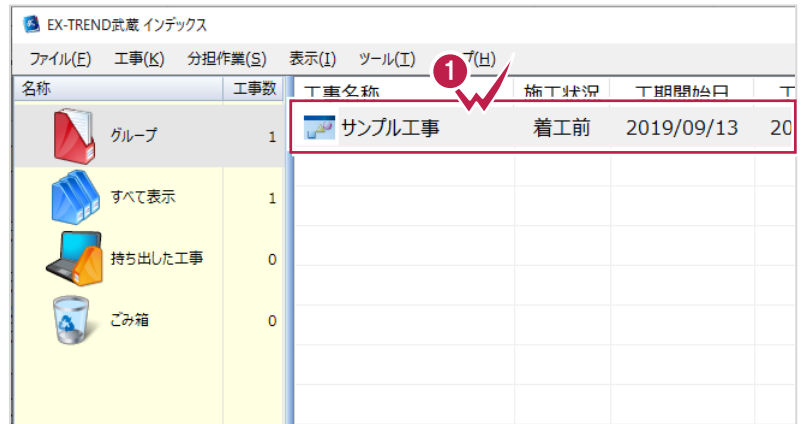
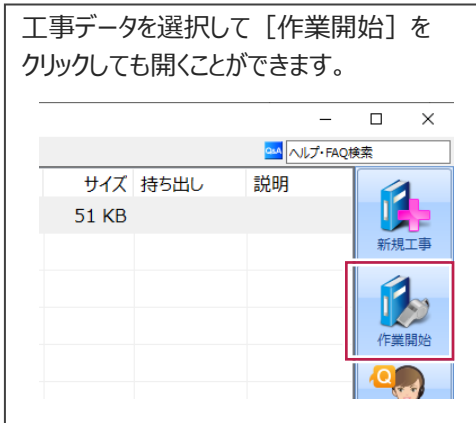
名称	工事数	工事名称	施工状況	工期開始日
グループ	1	サンプル工事	着工前	2019/09/13
すべて表示	1			
持ち出した工事	0			

## 2-5 工事データを開く/閉じる


工事データを開いて、武蔵データ画面を表示します。  
また、工事データを閉じ、工事一覧画面へ戻る操作を説明します。

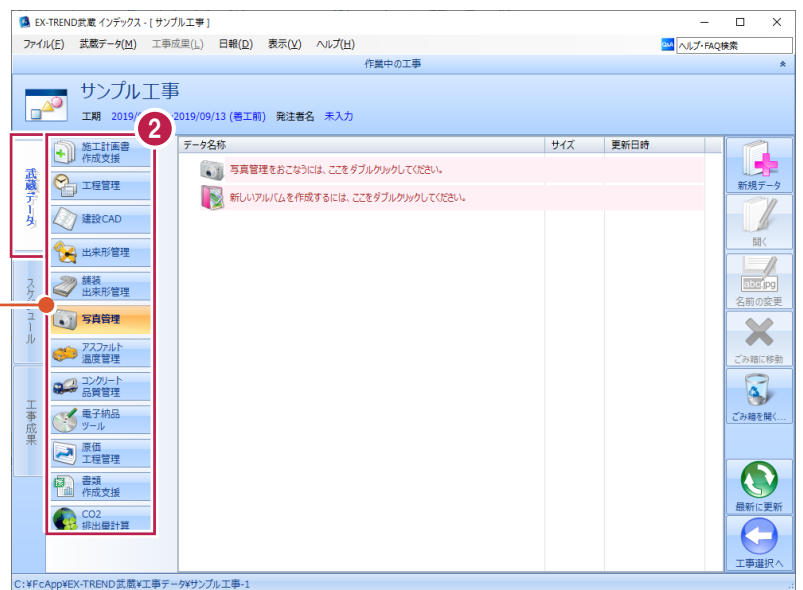
### ① 工事データをダブルクリックします。

工事データを選択して [作業開始] をクリックしても開くことができます。

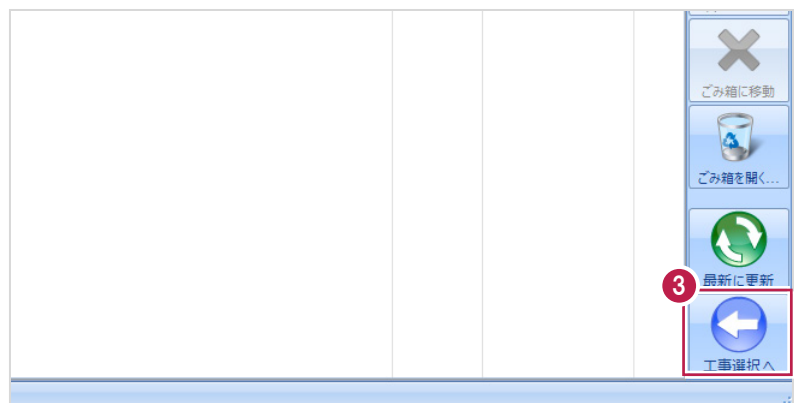


### ② 画面左側に、武蔵データの一覧が表示されます。

未購入のプログラムについては、  
進入禁止マーク  が表示されます。



### ③ 画面右下の [工事選択へ] をクリックし、工事一覧画面へ戻ります。



## 2-6 工事データのバックアップ/リストア

コンピュータも他の電化製品と同じように故障する場合があります。

また、ちょっとしたミスでデータを削除してしまうこともあるかもしれません。

バックアップとは、保存されている工事データ、および設定ファイルを別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に保存することを言います。ご使用中のコンピュータ内のHDDなどにバックアップをおこなっても、それは本来の意味のバックアップとは言えません。

（CDやDVDには直接バックアップできませんので、いったんHDDの別の領域にバックアップしてから、ライティングソフトなどでコピーする必要があります。）

お客様が作られたデータは、お客様にとって大切な財産です。

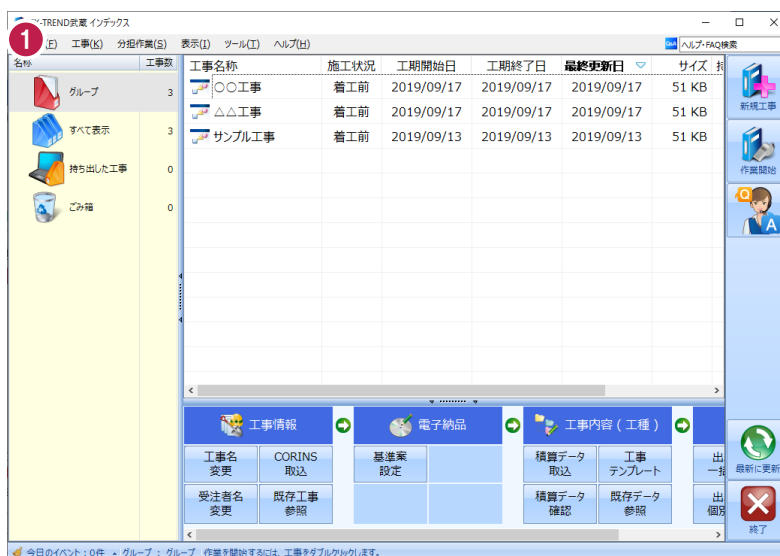
万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様ご自身の管理・責任において、データは必ず2か所以上の別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に定期的にバックアップとして保存してください。

（※いかなる事由においても、データの破損などによるお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。）

ここでは、インデックスで管理している工事データが複数ある場合に一括でバックアップをおこなう操作と、バックアップしたデータを戻す（リストア）操作を説明します。

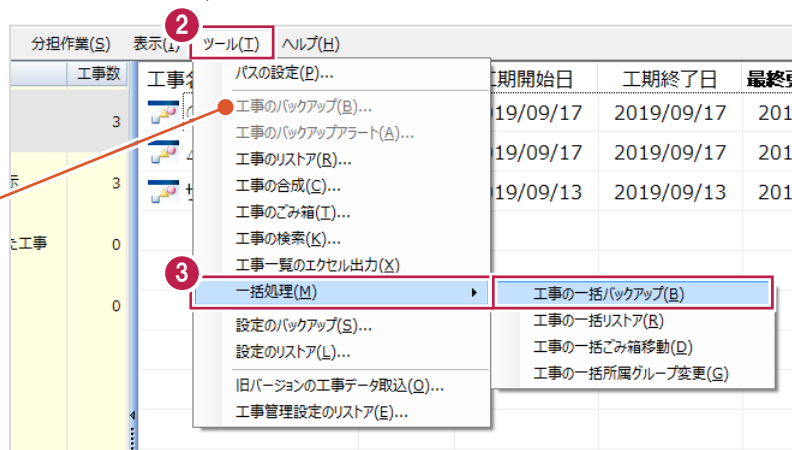
### ■ 工事データをバックアップする

- 1 EX-TREND 武蔵の関連プログラムをすべて終了し、インデックスのみ起動します。



- 2 メニューバーの [ツール] をクリックします。
- 3 [一括処理] - [工事の一括バックアップ] をクリックします。

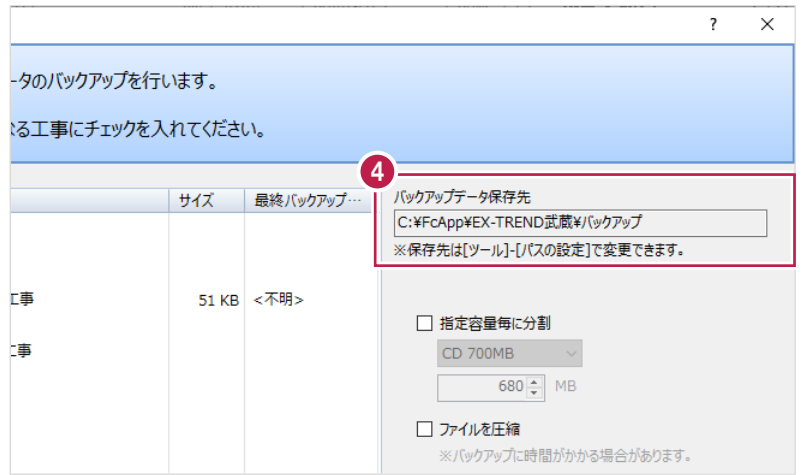
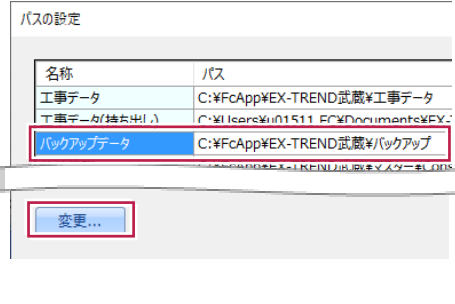
個別にバックアップする場合は、工事一覧で該当の工事を選択し、[ツール] - [工事のバックアップ] を選択します。



4 [バックアップデータの保存先] を確認します。

**保存先の変更**

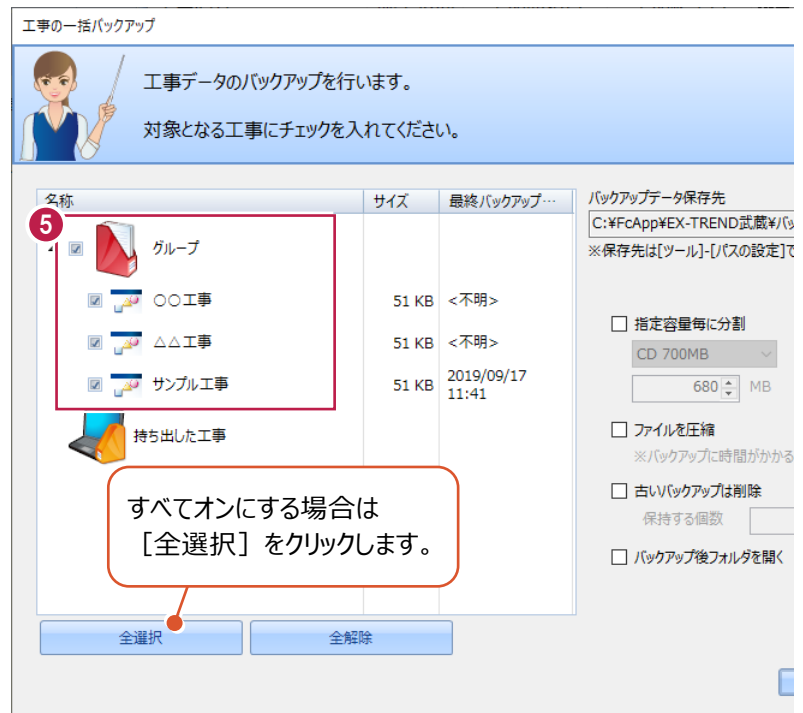
保存先を外付けのHDDなどにする場合は、工事の一括バックアップダイアログを [キャンセル] で閉じ、 [ツール] - [パスの設定] で [バックアップデータ] のパスを選択して [変更] をクリックしてください。



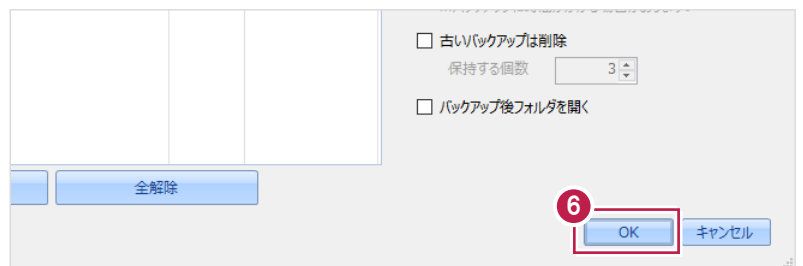
5 バックアップする工事データをオンにします。

**バックアップ時の設定について**

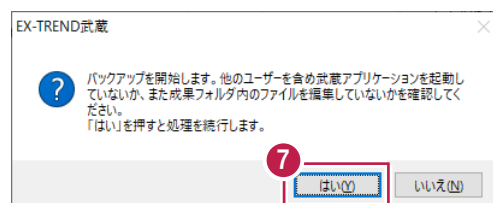
- [指定容量毎に分割] : CDなどのメディアの容量に合わせて、フォルダー分けしてバックアップデータを作成する場合に使用します。
- [ファイルを圧縮] : バックアップデータ量を圧縮して小さくする場合に使用します。(※写真データが多い場合は圧縮してもデータのサイズはあまり変わりません。)
- [古いバックアップは削除] : 同一フォルダー内に保管しておくバックアップ数を指定します。
- [バックアップ後フォルダを開く] : バックアップ完了後に保存先のフォルダーを自動的に開く場合はオンにします。



6 [OK] をクリックします。



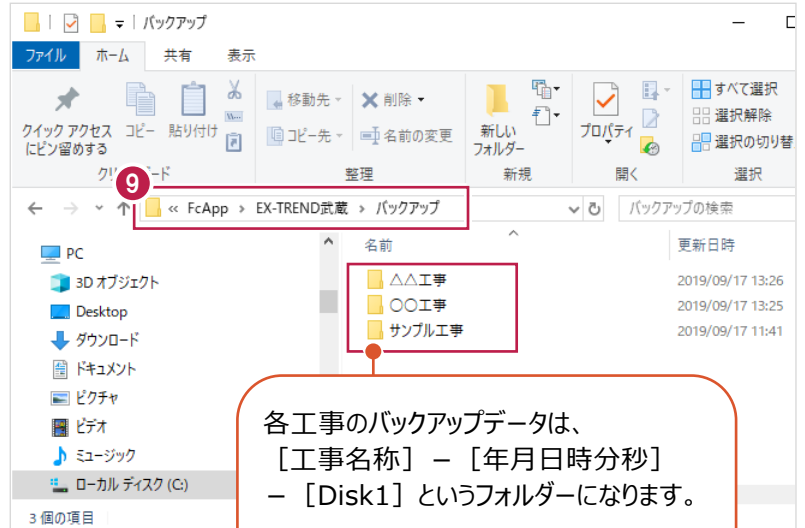
7 [[はい] をクリックします。



8 [OK] をクリックします。



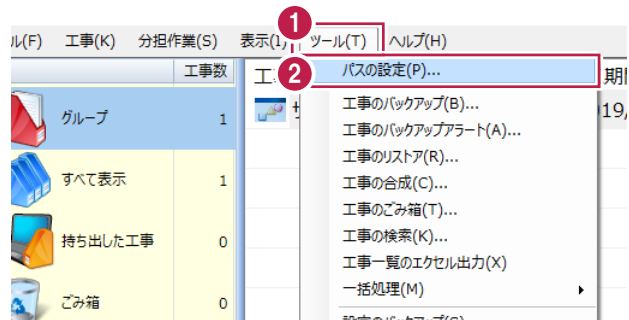
9 バックアップデータ保存先に、工事データが保存されます。



## ■ 工事データをリストア（復元）する

1 メニューバーの [ツール] をクリックします。

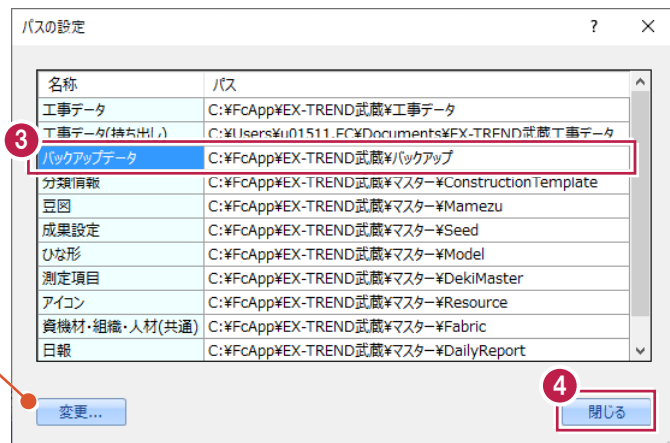
2 [パスの設定] をクリックします。



3 [バックアップデータ] のパスを確認します。  
この場所に、リストアしたいバックアップデータを格納してください。

バックアップデータが、外付けHDDなどに保存されている場合は、  
[バックアップデータ] を選択した状態で [変更] をクリックして、パスを変更してください。

4 確認後、[閉じる] をクリックします。

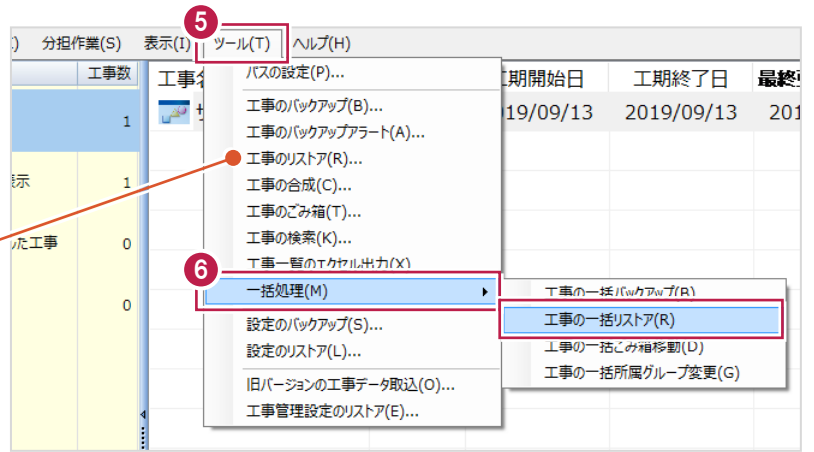




5 メニューバーの [ツール] をクリックします。

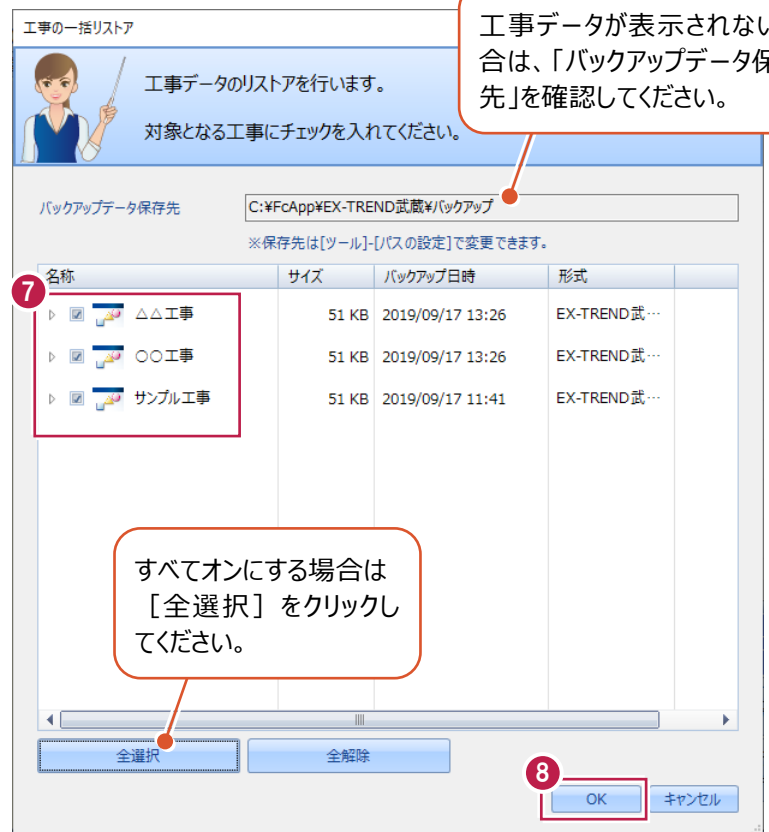
6 [一括処理] - [工事の一括リストア] をクリックします。

個別にリストアする場合は、工事一覧で該当の工事を選択し、  
[ツール] - [工事のリストア] を選択します。（「Disk1」フォルダーを指定してください。）

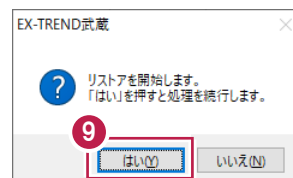


7 取り込む工事データをオンにします。

8 [OK] をクリックします。



9 [はい] をクリックします。



10 [OK] をクリックします。



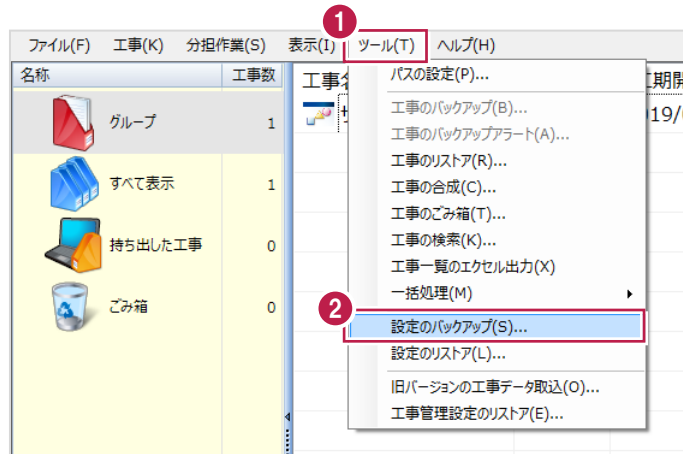
## 2-7 各種設定のバックアップ/リストア

ここでは、EX-TREND武蔵関連プログラムで使用する共通設定、辞書などをバックアップする操作、バックアップしたデータを戻す（リストア）操作を説明します。

### ■ 各種設定をバックアップする

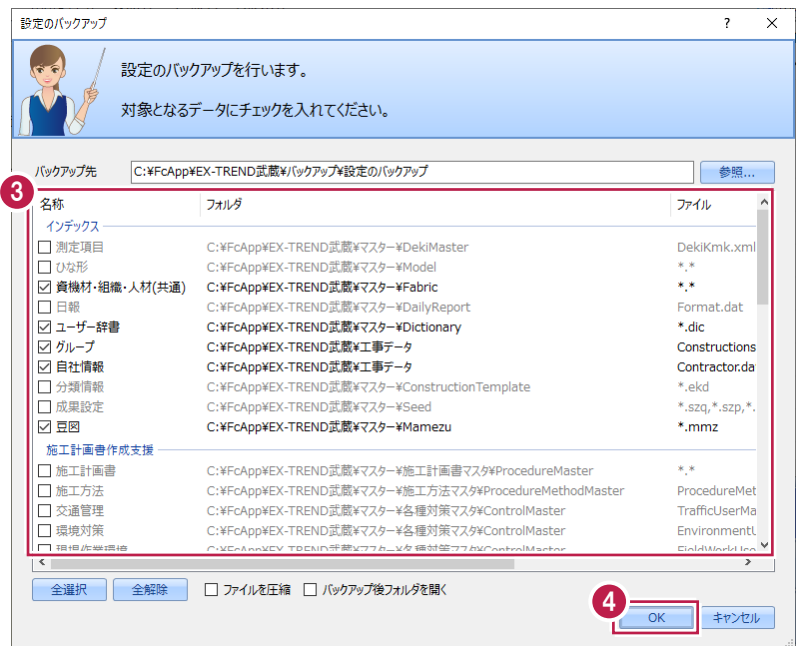
① メニューバーの [ツール] をクリックします。

② [設定のバックアップ] をクリックします。



③ バックアップする設定をオンにします。

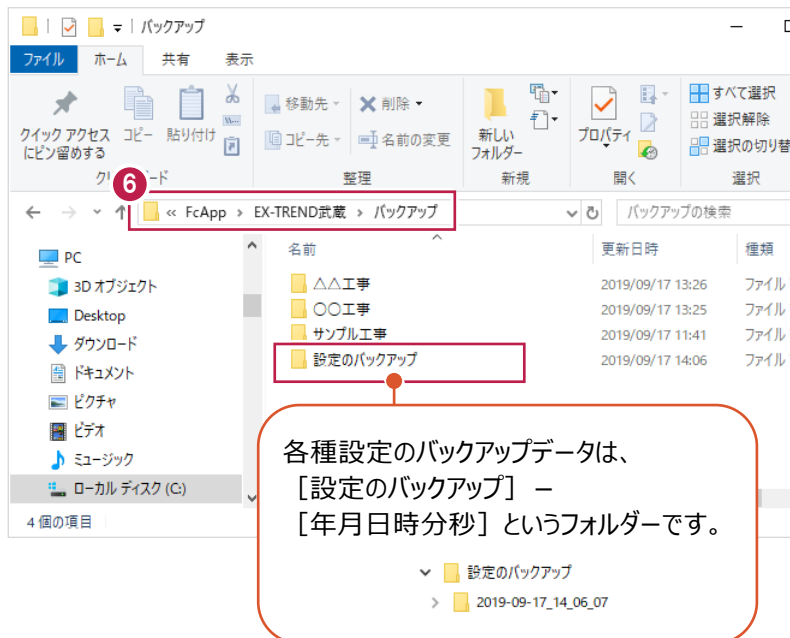
④ [OK] をクリックします。



⑤ [OK] をクリックします。

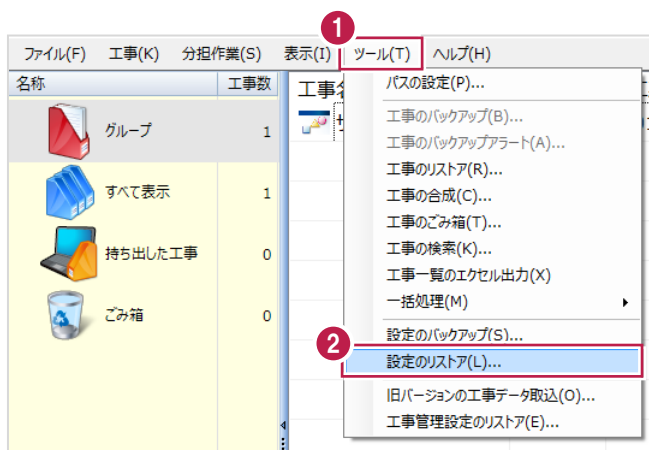


- ⑥ バックアップデータ保存先に、設定が保存されます。



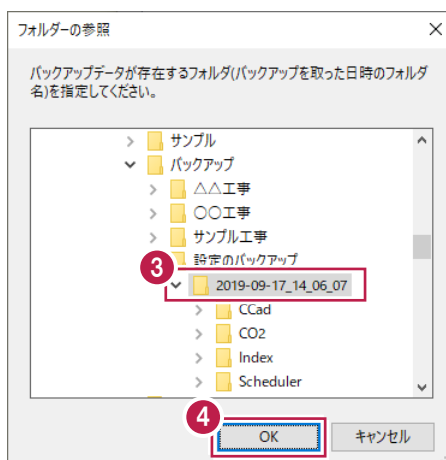
## ■ 各種設定をリストア（復元）する

- ① メニューバーの [ツール] をクリックします。



- ② [設定のリストア] をクリックします。

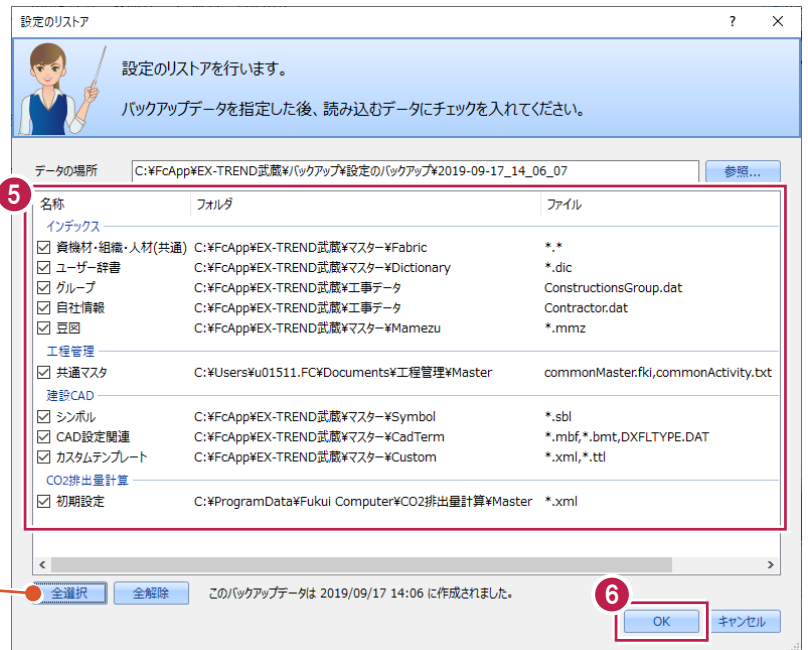
- ③ バックアップした設定があるフォルダーを指定します。



- ④ [OK] をクリックします。

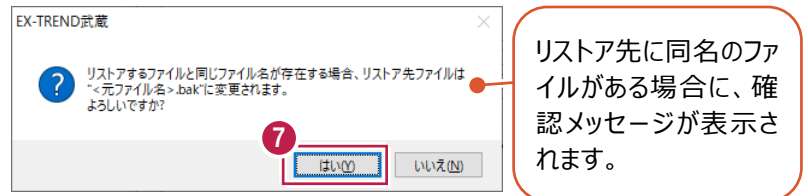
5 取り込む設定をオンにします。

6 [OK] をクリックします。



すべてオンにする場合は  
[全選択] をクリックし  
てください。

7 [はい] をクリックします。



リストア先に同名のファイルがある場合に、確認メッセージが表示されます。

8 [OK] をクリックします。



# 3

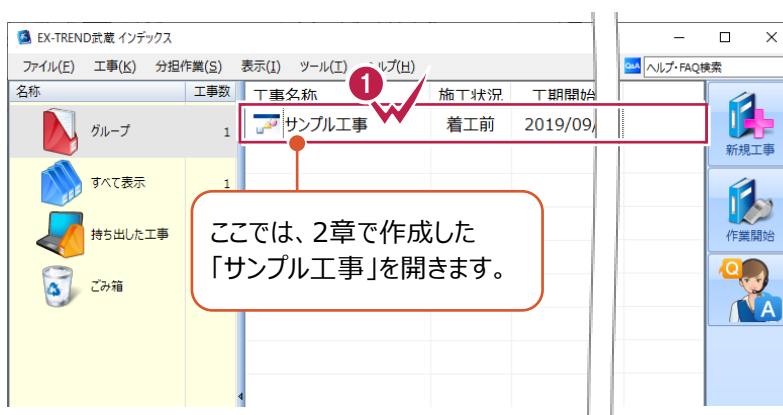
## 測定データの入力

[コンクリート品質管理] を起動して、測定データを入力する操作を説明します。

### 3-1 コンクリート品質管理の起動

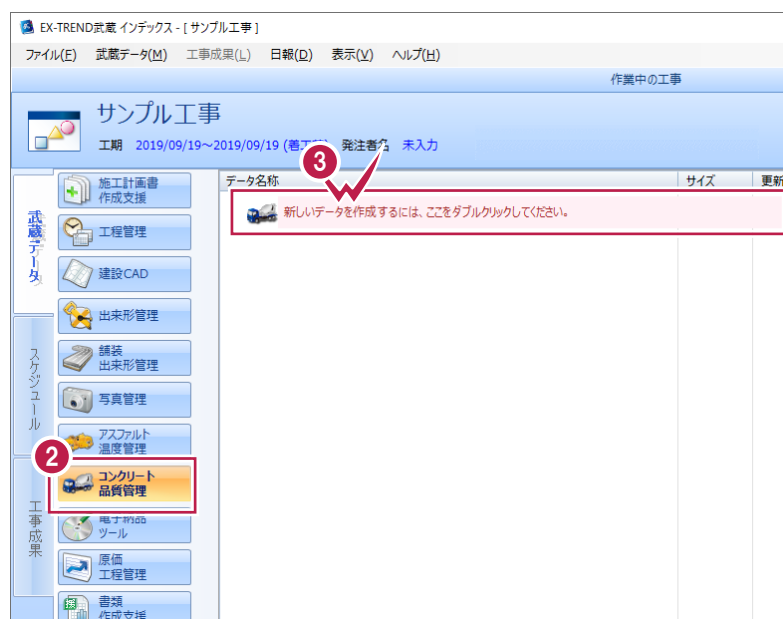
工事データを開き、コンクリート品質管理を起動します。

- 1 作業をおこなう工事データをダブルクリックします。



- 2 画面左側で [コンクリート品質管理] をクリックします。

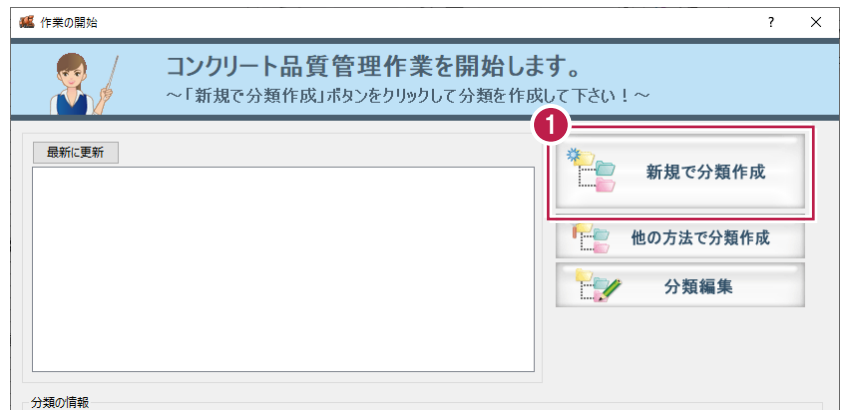
- 3 データ一覧の「新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。



## 3-2 分類の追加

工種、コンクリート配合などの入力や、作成する成果表のフォーム選択などをおこない、分類データとして追加します。

- ① [新規で分類作成] をクリックします。



- ② [工種] [混合物の種類] [測定者] などを入力します。

ここでは、以下のように入力します。

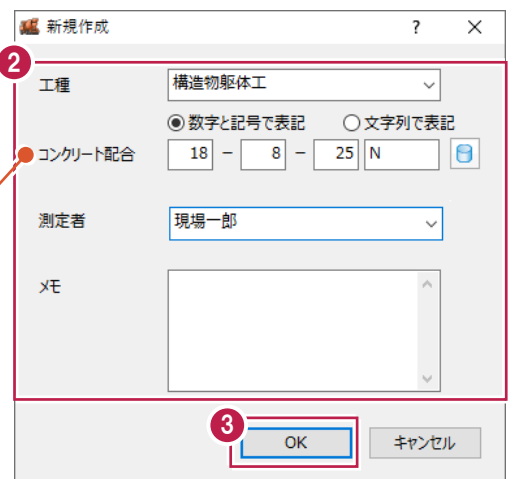
[工種] : 構造物躯体工

[コンクリート配合] : 「18」-「8」-「25」「N」

[測定者] : 現場一郎

- ③ [OK] をクリックします。

コンクリート配合の各数字と記号  
（「○○-△△-□□記号」は、  
以下の通りです。  
「○○」: 「呼び強度」  
「△△」: 「スランプ」  
「□□」: 「粗骨材の最大寸法」  
「記号」: 「コンクリートの種類」



- ④ 次に、使用する様式を設定します。

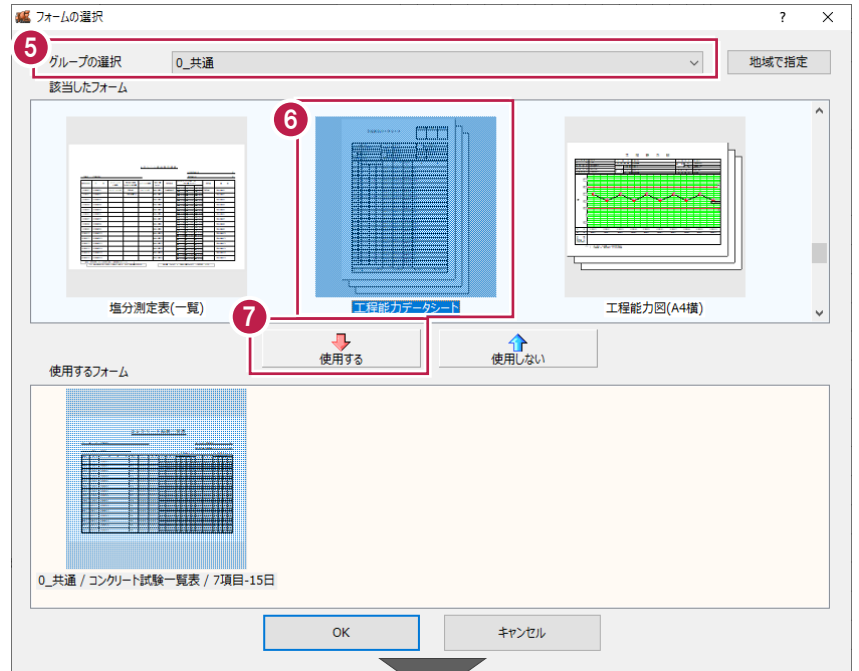
[変更] をクリックします。



⑤ 使用するフォームのグループを選択します。  
ここでは、[グループの選択]で「0\_共通」を選択します。

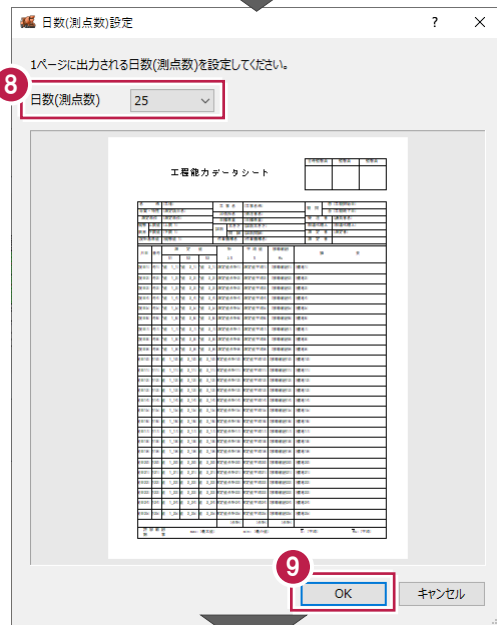
⑥ 使用するフォームを選択します。  
ここでは、[選択したフォーム]で「工程能力データシート」を選択します。

⑦ [使用する] をクリックします。



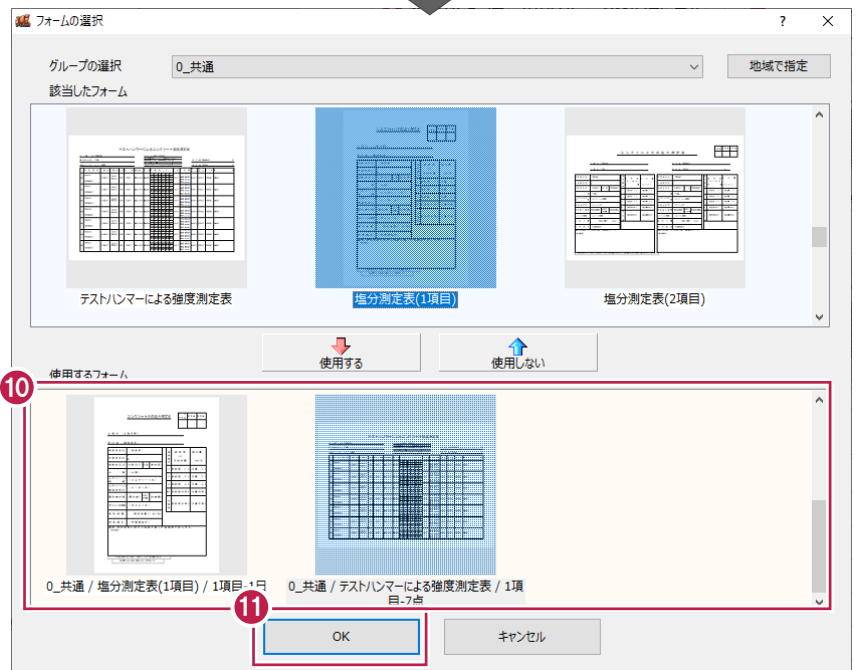
⑧ 選択した「工程能力シート」など、フォームにより表示日数を設定できるものがあります。  
設定画面が表示された場合は、[日数(測点数)]欄を設定します。

⑨ [OK] をクリックします。



⑩ 同様に⑤～⑨の操作を繰り返し、下部のリストに複数のフォームを追加します。  
ここでは、以下のフォームを追加します。  
0\_共通：工程能力図 (A4 横)  
0\_共通：塩分測定表 (1 項目)  
0\_共通：テストハンマーによる強度測定表

⑪ フォームを追加後、[OK] をクリックします。



12 「作業開始」をクリックします。

作業の開始

コンクリート品質管理作業を開始します。  
～リストから分類を選んで「作業開始」ボタンをクリックして下さい！～

工種	コンクリート配合	更新日時
構造物躯体工	18-8-25N	2019/09/20 11:0...

分類の情報

[測定項目] 測定者 [打設日: 0] [フォーム] 変更

温度 スラブ 空気量 圧縮強度 7日標準 圧縮強度 7日現場 圧縮強度 28日標準(推定) 圧縮強度 28日現場(推定) 圧縮強度 28日標準 圧縮強度 28日現場

現場 一郎

メモ

打設日

1 / 5

作業開始 終了

13 「取り消して終了」をクリックします。

打設日等入力

打設日 2019年 9月 20日 打設時間 打設箇所

打設量 m3 天気 <なし> 備考

温度 スラブ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内規格値外: [緑] 上下限值外: [赤]

測定値1 cm

測定値2 cm

測定値3 cm

測定値平均 cm

追加 複写 並べ替え 削除

写真管理

更新して終了

取り消して終了

本プログラムでは、打設ごとにすぐ日毎入力ができるように、起動時には自動的に「打設日入力」ダイアログが表示されます。

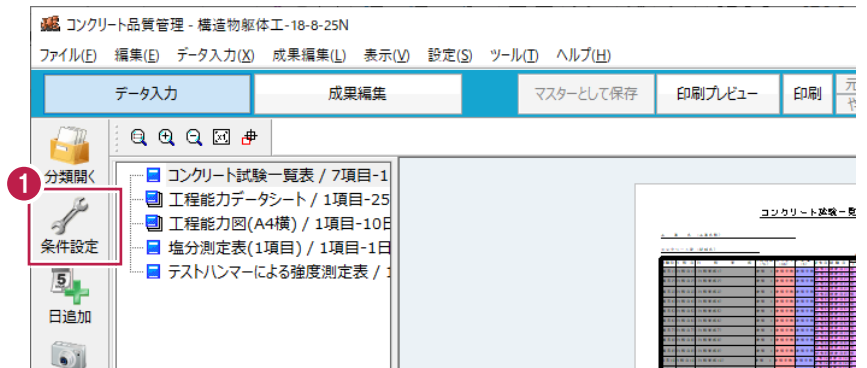
ここでは、まず各設定をおこなうので「取り消して終了」をクリックします。



### 3-3 測定項目の条件確認

コンクリートの種類や配合などの情報を入力し、スランプや塩分などの測定条件を設定・確認します。

- 1 [条件設定] をクリックします。



- 2 使用したコンクリートの種類や配合などの情報を入力します。

- 3 [測定項目] を切り替えながら、各条件を設定します。(次ページ参照)



- 4 [設定項目] で「温度」を選択して、各条件を設定します。
- 5 [設定項目] で「スランプ」を選択して、各条件を設定します。
- 6 [設定項目] で「空気量」を選択して、各条件を設定します。
- 7 [設定項目] で「圧縮強度」を選択して、各条件を設定します。
- 8 [設定項目] で「単位水量」を選択して、各条件を設定します。
- 9 [設定項目] で「塩分」を選択して、各条件を設定します。
- 10 [設定項目] で「テストハンマー」を選択して、各条件を設定します。
- 11 設定・確認後、[OK] をクリックします。

4

測定項目 **温度** 社内規格値一括%指定  80

社内規格値を%指定する

項目	上下限値				社内規格値			
	下限	下限(差)	上限	上限(差)	下限	下限(差)	上限	上限(差)
1 打設温								
2 外気温								
3 養生温								

単位  入力桁数

日標準量  測定方法

試料大きさ  作業機械名

試料間隔  備考

5

測定項目 **スランプ** 社内規格値一括%指定  80

規格値   社内規格値を%指定する

項目	上下限値				社内規格値			
	下限	下限(差)	上限	上限(差)	下限	下限(差)	上限	上限(差)
1 測定値	5.5	-2.5	10.5	2.5	6.0	-2.0	10.0	2.0

単位  入力桁数

日標準量  測定方法

試料大きさ  作業機械名

試料間隔  備考

6

測定項目 **空気量** 社内規格値一括%指定  80

規格値   社内規格値を%指定する

項目	上下限値				社内規格値			
	下限	下限(差)	上限	上限(差)	下限	下限(差)	上限	上限(差)
1 測定値	3.0	-1.5	6.0	1.5	3.3	-1.2	5.7	1.2

単位  入力桁数

日標準量  測定方法

試料大きさ  作業機械名

試料間隔  備考

7

測定項目 **圧縮強度** 社内規格値一括%指定  80

設計強度   社内規格値を%指定する

項目	上下限値				社内規格値			
	下限	下限(差)	上限	上限(差)	下限	下限(差)	上限	上限(差)
1 測定値	24.0							

単位  入力桁数

日標準量  測定方法

試料大きさ  作業機械名

試料間隔  備考

入力表示

8

測定項目 **単位水量** 社内規格値一括%指定  80

設計値   社内規格値を%指定する

項目	上下限値				社内規格値			
	下限	下限(差)	上限	上限(差)	下限	下限(差)	上限	上限(差)
1 指示値	130.000	-20.000	170.000	20.000	134.000	-16.000	166.000	16.000
2 管理値	135.000	-15.000	165.000	15.000	138.000	-12.000	162.000	12.000

単位  入力桁数

日標準量  測定方法

試料大きさ  作業機械名

試料間隔  備考

9

測定項目 **塩分** 社内規格値一括%指定  80

規格値

単位(測定値)  測定値  塩分量

日標準量  測定方法

試料大きさ  作業機械名

試料間隔  備考

10

測定項目 **テストハンマー** 社内規格値一括%指定  80

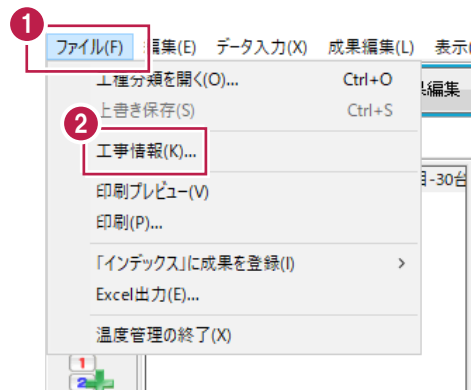
測定器名

## 工事情報の入力について

各部に連動する工事情報の入力は【ファイル】 - 【工事情報】でおこないます。  
どの時点でも入力することができます。

① メニューバーの【ファイル】をクリックします。

② 【工事情報】をクリックします。



③ 工事情報を設定します。

④ 設定後、【OK】をクリックします。

The image shows a dialog box titled '工事情報' (Project Information). It has tabs for '工事情報', '工事情報', 'ユーザー情報', and '変更履歴'. The '工事情報' tab is active. Fields include: 工事名称 (サンプル工事), 発注年度 (西暦) (2019), 工事番号 (123456789), 工事箇所 (〇〇県〇〇市〇〇番地), 河川路線名等 (国道〇号), 工期開始・終了日 (2019年 9月19日 ~ 2020年 2月18日), 請負金額 (0 円), and 工事内容. Below these are two sections for '受注者情報' (Contractor Information) and '発注者情報' (Client Information), each with dropdown menus for name and role. At the bottom, there are buttons for 'CORINS参照...', '他工事参照...', 'OK' (highlighted with a red box and circled with a red '4'), and 'キャンセル'.

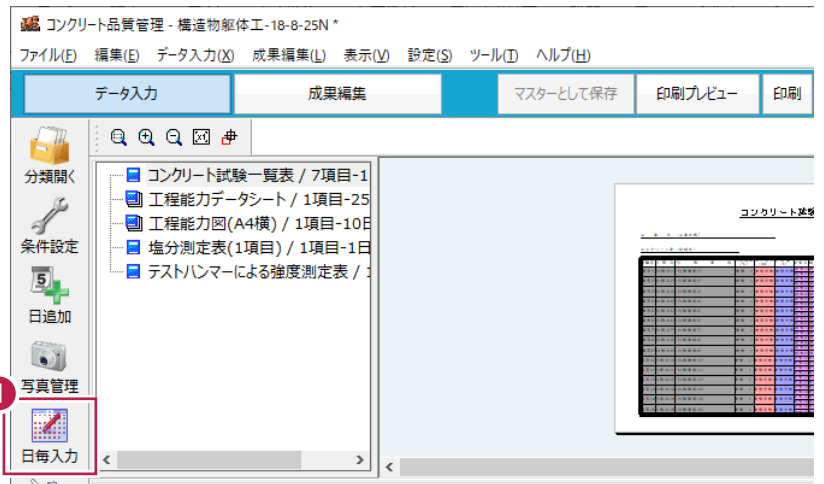
### 3-4 打設日毎の入力

測定データを打設日毎に入力します。

測定データの入力方法として、[コンクリート品質管理] ウィンドウのセルに直接入力することもできますが、ここでは、実務にあった打設日毎の入力方法を説明します。

入力は[打設日毎入力] ダイアログでおこないます。起動時には自動的に表示されますので、効率の良い作業ができます。

① [日毎入力] をクリックします。

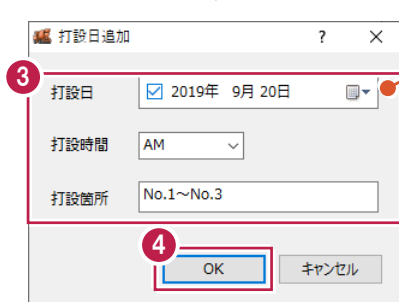


② [追加] をクリックします。

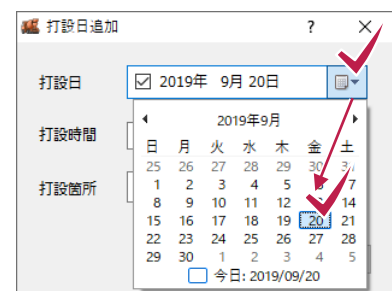


③ 打設日、打設時間、打設箇所を設定します。

④ [OK] をクリックします。



打設日はボックスの右の [▼] をクリックして、カレンダーから選択することもできます。



5 コンクリートの打設量、天気などを  
入力します。

6 [温度] タブをクリックします。

7 打設温、外気温、養生温を入力  
します。

写真管理で打設時の写真が入力されて  
いる場合は、[写真管理] から現場写真  
を確認することができます。

[写真管理] については、「写真を確認  
しながら入力するには」(P.33)を参照  
してください。

打設日 2019年 9月 20日 打設時間 AM 打設箇所 No.1~No.3  
打設量 100.00 m3 天気 <なし> 備考  
温度 タブ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分  
社内規格値外: [緑] 上下限値外: [赤]  
打設温 13 °C  
外気温 15 °C  
養生温 20 °C  
写真管理  
更新して終了  
取り消して終了

8 [スランプ] タブをクリックします。

9 スランプコーンなどで測定したコンクリート  
のスランプを入力します。

打設日 2019年 9月 20日 打設時間 AM 打設箇所 No.1~No.3  
打設量 100.00 m3 天気 <なし> 備考  
温度 スランプ タブ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分  
社内規格値外: [緑] 上下限値外: [赤]  
測定値1 8.5 cm  
測定値2 9.0 cm  
測定値3 cm  
測定値平均 8.8 cm  
写真管理  
更新して終了  
取り消して終了

10 [空気量] タブをクリックします。

11 スランプコーンなどで測定したコンクリート  
の空気量を入力します。

打設日 2019年 9月 20日 打設時間 AM 打設箇所 No.1~No.3  
打設量 100.00 m3 天気 <なし> 備考  
温度 スランプ 空気量 タブ 圧縮強度 単位水量 塩分  
社内規格値外: [緑] 上下限値外: [赤]  
測定値1 5.0 %  
測定値2 4.5 %  
測定値3 %  
測定値平均 4.8 %  
写真管理  
更新して終了  
取り消して終了

- 12 [圧縮強度] タブをクリックします。
- 13 入力対象となるコンクリートを選択します
- 14 テストピースなどで測定したコンクリートの圧縮強度測定結果を入力します。

[コンクリート条件設定] ダイアログの測定項目 [圧縮強度] の [入力表示] で圧縮強度を測定する材令と養生方法を選択します。ここで選択した測定項目のみが [打設日毎入力] ダイアログの [圧縮強度] に表示されます。

測定項目: 圧縮強度

設計強度: 18.0

項目	上下限値		社内規格値	
	下限	上限	下限	上限
1 測定値	24.0			

単位: N/mm<sup>2</sup> 入力桁数: 1桁

日標準量: [ ] 測定方法: [ ]

試料大きさ: 1回 3測定 作業機械名: 圧縮強度試験器

試料間隔: 打設日ごと 備考: [ ]

入力表示: 3日標準, 3日現場, 28日標準(推定), 28日現場(推定), 7日標準, 7日現場, 28日標準, 28日現場

打設日: 2019年 9月 20日 打設時間: AM 打設箇所: No.1~No.3

打設量: 7 m<sup>3</sup> 天気: <なし> 備考: [ ]

温度: [ ] スラブ: [ ] 空気量: [ ] 圧縮強度: [ ] 単位水量: [ ] 塩分: [ ]

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

7日標準	測定値1	13.5	N/mm <sup>2</sup>
7日現場	測定値2	12.5	N/mm <sup>2</sup>
28日標準(推定)	測定値3	13.0	N/mm <sup>2</sup>
28日現場(推定)	測定値平均	13.0	N/mm <sup>2</sup>
28日標準	伸率	[ ]	
28日現場	試験日	2019年 9月 27日	
	材令	7	

写真管理 [ ] 更新して終了 [ ] 取り消して終了 [ ]

- 15 材令、保存場所別に入力します。
- 入力対象となるコンクリートをクリックしてテストピースなどで測定したコンクリートの圧縮強度測定結果を入力します。

打設日: 2019年 9月 20日 打設時間: AM 打設箇所: No.1~No.3

打設量: 100.00 m<sup>3</sup> 天気: <なし> 備考: [ ]

温度: [ ] スラブ: [ ] 空気量: [ ] 圧縮強度: [ ] 単位水量: [ ] 塩分: [ ]

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

7日標準	測定値1	12.0	N/mm <sup>2</sup>
7日現場	測定値2	11.5	N/mm <sup>2</sup>
28日標準(推定)	測定値3	12.0	N/mm <sup>2</sup>
28日現場(推定)	測定値平均	11.8	N/mm <sup>2</sup>
28日標準	伸率	[ ]	
28日現場	試験日	2019年 9月 27日	
	材令	7	

7日標準	測定値1	20.5	N/mm <sup>2</sup>
7日現場	測定値2	19.5	N/mm <sup>2</sup>
28日標準(推定)	測定値3	20.0	N/mm <sup>2</sup>
28日現場(推定)	測定値平均	20.0	N/mm <sup>2</sup>
28日標準	伸率	[ ]	
28日現場	試験日	2019年 10月 18日	
	材令	28	

7日標準	測定値1	19.0	N/mm <sup>2</sup>
7日現場	測定値2	19.5	N/mm <sup>2</sup>
28日標準(推定)	測定値3	18.5	N/mm <sup>2</sup>
28日現場(推定)	測定値平均	19.0	N/mm <sup>2</sup>
28日標準	伸率	[ ]	
28日現場	試験日	2019年 10月 18日	
	材令	28	

16 [単位数量] タブをクリックします。

17 単位数量の測定値を入力します。

18 [塩分] タブをクリックします。

19 塩分量の測定値を入力します。

20 同様に、他の打設日の測定データを入力します。(次ページ参照)

ここでは、打設日毎に日付を追加して入力する方法を解説しましたが、先に予定など日付だけを入力して、[打設日一覧] で、切り替えて測定データを入力することもできます。

21 入力後、[更新して終了] をクリックします。

入力

打設時間 打設箇所  
9/20 AM No.1~N...  
9/24 AM No.4~N...

打設日  2019年 9月 24日 打設時間 AM 打設箇所 No.4~N...

打設量 100.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スラップ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

測定値1  cm  
測定値2  cm  
測定値3  cm  
測定値平均  cm

入力

打設時間 打設箇所  
9/20 AM No.1~N...  
9/24 AM No.4~N...

打設日  2019年 9月 24日 打設時間 AM 打設箇所 No.4~N...

打設量 100.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スラップ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

測定値1  %  
測定値2  %  
測定値3  %  
測定値平均  %

入力

打設時間 打設箇所  
9/20 AM No.1~N...  
9/24 AM No.4~N...

打設日  2019年 9月 24日 打設時間 AM 打設箇所 No.4~N...

打設量 100.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スラップ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

7日標準 測定値1  N/mm2  
7日現場 測定値2  N/mm2  
28日標準(推定) 測定値3  N/mm2  
28日現場(推定) 測定値平均  N/mm2  
28日標準 俵率   
28日現場 試験日  2019年 10月 1日  
材令

入力

打設時間 打設箇所  
9/20 AM No.1~N...  
9/24 AM No.4~N...

打設日  2019年 9月 24日 打設時間 AM 打設箇所 No.4~N...

打設量 100.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スラップ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

7日標準 測定値1  N/mm2  
7日現場 測定値2  N/mm2  
28日標準(推定) 測定値3  N/mm2  
28日現場(推定) 測定値平均  N/mm2  
28日標準 俵率   
28日現場 試験日  2019年 10月 1日  
材令

入力

打設時間 打設箇所  
9/20 AM No.1~N...  
9/24 AM No.4~N...

打設日  2019年 9月 24日 打設時間 AM 打設箇所 No.4~N...

打設量 100.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スラップ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

7日標準 測定値1  N/mm2  
7日現場 測定値2  N/mm2  
28日標準(推定) 測定値3  N/mm2  
28日現場(推定) 測定値平均  N/mm2  
28日標準 俵率   
28日現場 試験日  2019年 10月 22日  
材令

入力

打設時間 打設箇所  
9/20 AM No.1~N...  
9/24 AM No.4~N...

打設日  2019年 9月 24日 打設時間 AM 打設箇所 No.4~N...

打設量 100.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スラップ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

7日標準 測定値1  N/mm2  
7日現場 測定値2  N/mm2  
28日標準(推定) 測定値3  N/mm2  
28日現場(推定) 測定値平均  N/mm2  
28日標準 俵率   
28日現場 試験日  2019年 10月 22日  
材令

入力

打設時間 打設箇所  
9/20 AM No.1~N...  
9/24 AM No.4~N...

打設日  2019年 9月 24日 打設時間 AM 打設箇所 No.4~N...

打設量 100.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スラップ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内指示値外:[緑] 指示値外:[赤]  
社内管理値外:[黄] 管理値外:[青]

設計値  kg/m3  
下限 上限 社内規格値下限 社内規格値上限  
指示値      
管理値

測定値 差

1回目  kg/m3  kg/m3  
2回目  kg/m3  kg/m3  
3回目  kg/m3  kg/m3  
4回目  kg/m3  kg/m3  
5回目  kg/m3  kg/m3  
6回目  kg/m3  kg/m3  
7回目  kg/m3  kg/m3

入力

打設時間 打設箇所  
9/20 AM No.1~N...  
9/24 AM No.4~N...

打設日  2019年 9月 24日 打設時間 AM 打設箇所 No.4~N...

打設量 100.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スラップ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

規格値  kg/m3

測定値  塩分量

測定1  %  kg/m3  
測定2  %  kg/m3  
測定3  %  kg/m3  
測定平均  %  kg/m3

単位水量  kg/m3  
測定時間   
備考



## 成果イメージの確認

画面左のツリーでページ番号を選択すると、成果内容を確認することができます。

ページを切り替えることで、成果イメージを確認することができます。

右クリックして表示される各コマンドで、プレビューの拡大や移動などをおこなうことができます。

前記「打設日毎の入力」で入力した測点データも、リアルタイムに反映されています。

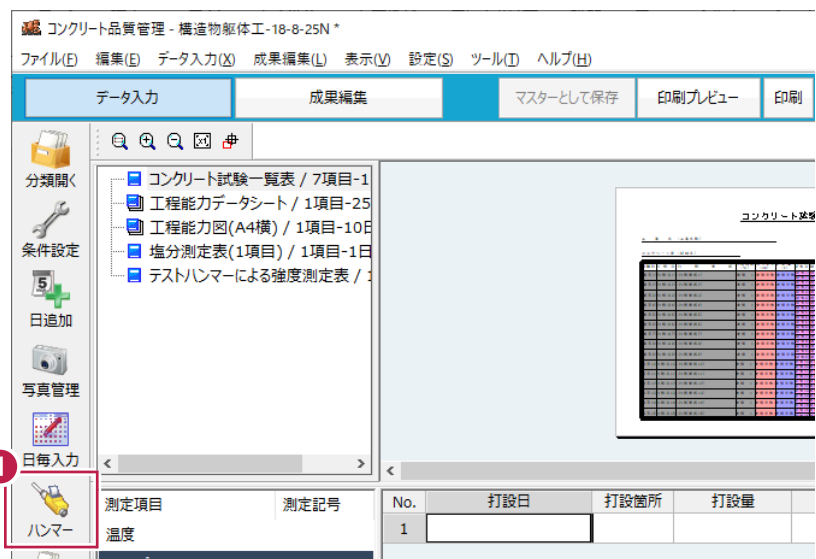
No.	打設日	打設箇所	打設量	測定値1	測定値2	測定値3	測定値平均
1	2019/09/20	No.1~No.:	100.00	8.5	9.0		8.8
2	2019/09/24	No.4~No.t	100.00	9.0	9.5		9.3
3							

本書では、打設日毎の入力で測定データを入力しましたが、直接セルに入力することもできます。直接セル入力する場合は、左側の測定項目を選択して、右側のセルを切り替えて入力します。また、「3-4 打設日毎の入力」(P.25) で入力した測定データは、このセルに反映されます。

### 3-5 テストハンマーを入力する

シュミットハンマーなどで測定した、テストハンマーの測定データを入力します。

① [ハンマー] をクリックします。

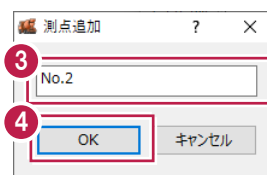


② [追加] をクリックします。



③ テストした測点名を入力します。

④ [OK] をクリックします。



5 測定箇所、天気、気温などの測定環境を入力します。

6 反発回数を設定して、測定値を入力します。

5

6

7 同様な方法で、他の測定箇所の測定データを入力します。

8 [更新して終了] をクリックします。

7

8

ここでは、測定箇所毎に測点を追加して入力する方法を解説しましたが、先に測定した測点のみを入力して、[測点一覧] ボックスで切り替えて、測定データを入力することもできます。

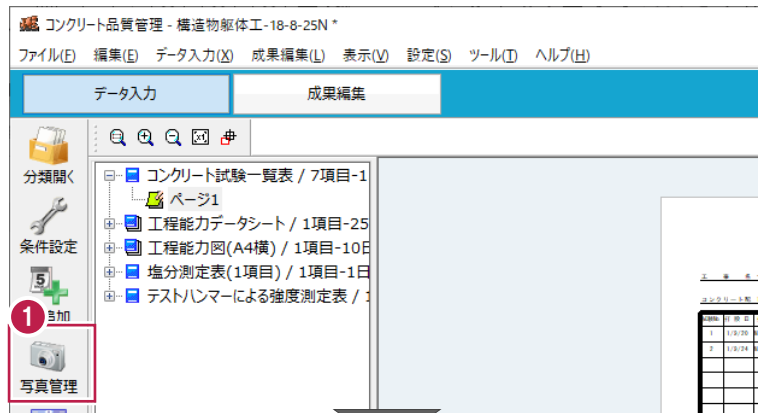
入力完了後、[更新して終了] をクリックし、[コンクリート品質管理] のデータ入力画面に戻ります。

## 写真を確認しながら入力するには

画面左の「写真管理」をクリックすると、写真管理で入力されている写真の黒板部分や写真情報を確認しながら、測定データを入力することができます。このコマンドは、「打設日毎入力」「テストハンマー」ダイアログにも配置されています。画面左のツリー部分でページを切り替えることにより、以下のように各成果のイメージを確認することができます。

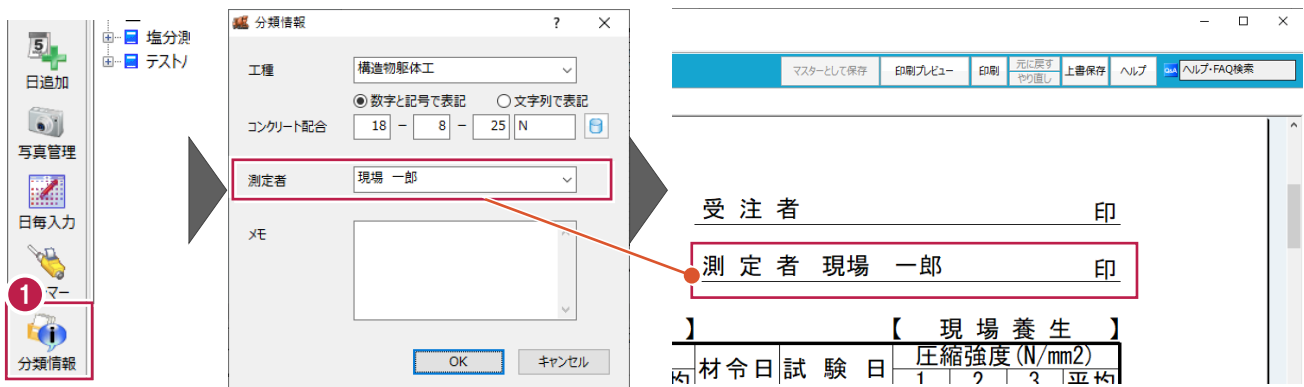
① 「写真管理」をクリックします。

「写真管理」が起動して、選択されている写真が拡大表示されます。コンピューターをマルチモニターで使用している場合は、「コンクリート品質管理」を表示しているモニターとは別のモニターに「写真管理」が起動します。



## 測定者名などのフォームへの連動

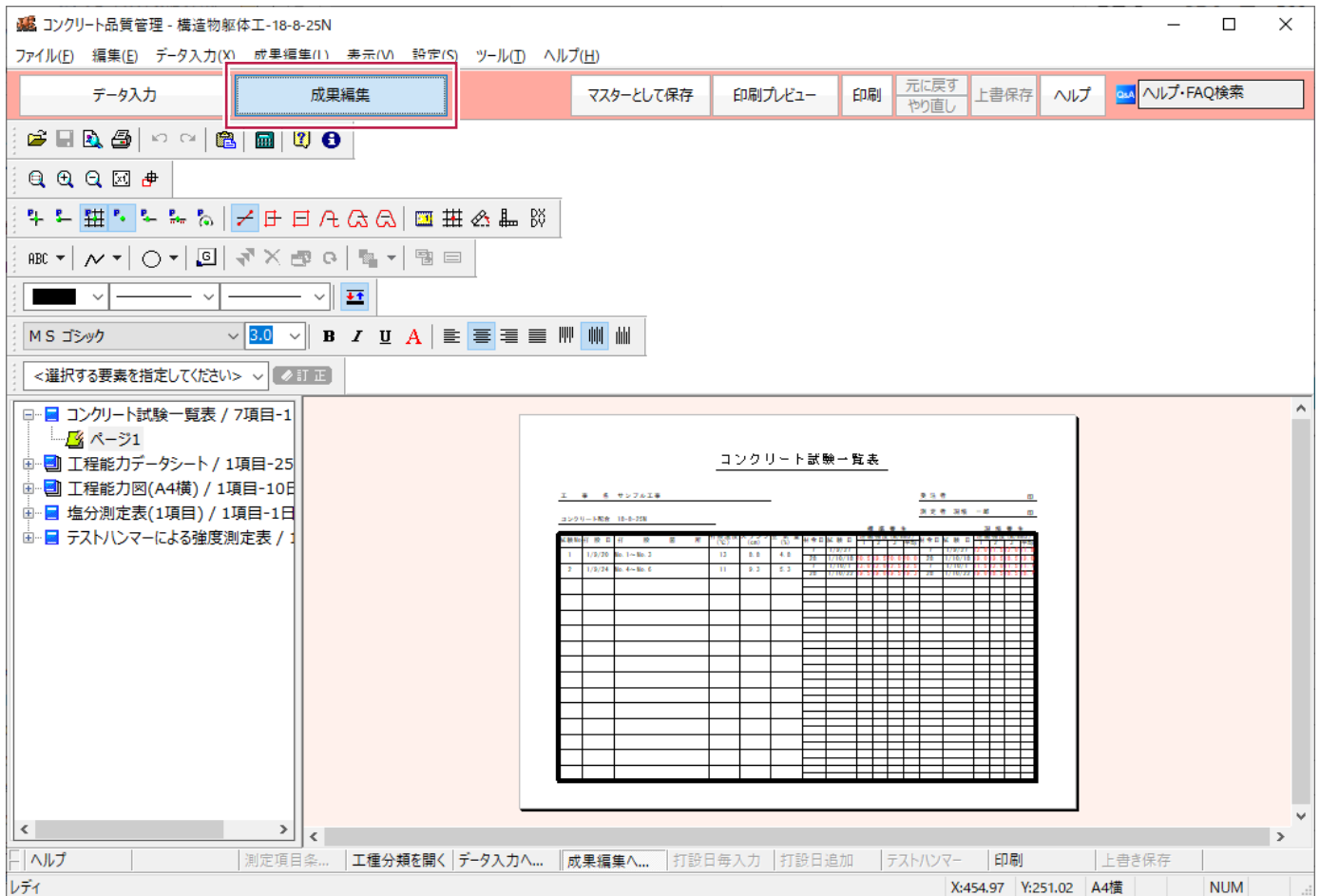
フォームの測定者の入力は、「分類情報」で行うことができます。



# 4

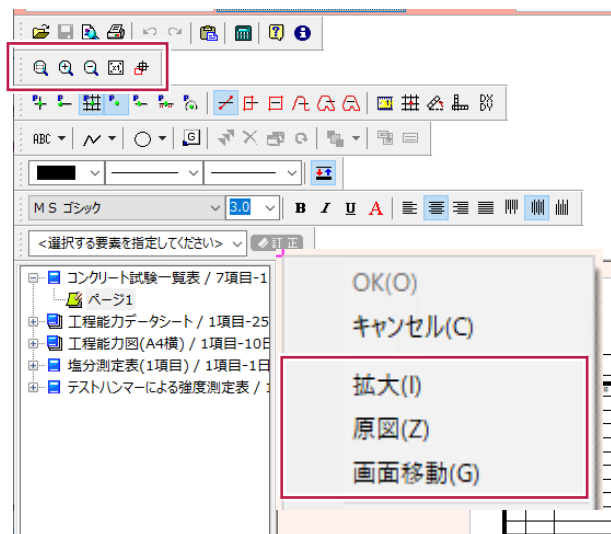
## 成果の確認・編集

グラフ内の色変更や任意の文字・線などの入力には「成果編集」ステージでおこないます。  
画面左上の「成果編集」をクリックして「成果編集」ステージに切り替えます。



### フォームの拡大・縮小表示

フォームの表示の拡大・縮小は、ツールバーのコマンドや、フォーム表示領域内で右クリックして表示される各コマンドでおこなうことができます。



訂正する文字をダブルクリックすると訂正画面が表示されます。  
 [直接入力する] をオンにすると直接訂正することができます。

コンクリート配合 18-8-25N

試験No.	打設日	打設箇所
1	1/9/20	No.1~No.3
2	1/9/24	No.4~No.6

データボックスの書式設定

入力文字 配置 フォント・背景 罫線

文字列

直接入力する

試験No.

出力する文字列を直接入力してください。  
 ※Excel出力では、以下のデータが出力されます。

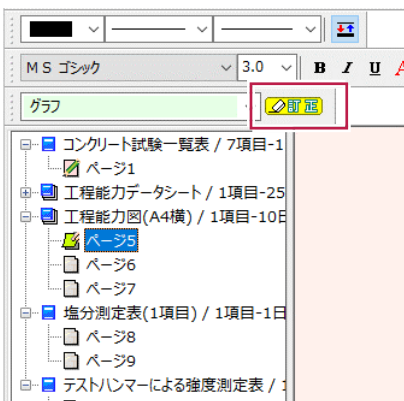
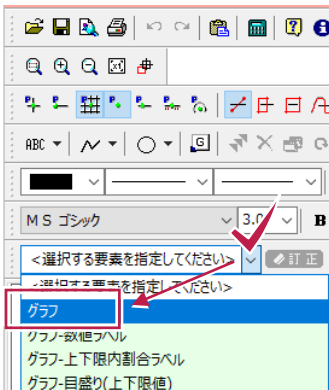
[Excel出力されるデータ]  
 試験No.

OK キャンセル

### グラフの編集について

各グラフ線の色、目盛り線の表示・非表示は [グラフの書式設定] で設定することができます。

[グラフの書式設定] はツールバーの [選択する要素を指定してください] で「グラフ」を選択して、[訂正] をクリックすると表示することができます。



グラフの書式設定

線設定 グラフ線・数値 基本設定

配置・線・文字設定

配置	線名称	<input checked="" type="checkbox"/> 配置する
<input type="radio"/>	上下限值線	<input checked="" type="checkbox"/> ぼらつきを表示する
<input type="radio"/>	上下限值%1線	線
<input type="radio"/>	上下限值%2線	線種 <input type="text"/> 色 <input type="text"/> 太さ <input type="text"/>
<input type="radio"/>	社内規格値線	文字
<input type="radio"/>	平均値線	<input checked="" type="checkbox"/> 文字配置 位置 後 <input type="text"/>
		上限文字 <input type="text"/> 下限文字 <input type="text"/>
		<input checked="" type="checkbox"/> 末尾に値を表示する

ぼらつき管理

上下限値の範囲に収まっている割合を表示する

タイトルを表示する  ぼらつき

打設日数・測点数を表示する

対象とする打設日・測点

全て  ページ内

プロット対象

測定値  差

OK キャンセル

# 5

## 成果の印刷

作成した成果を印刷します。

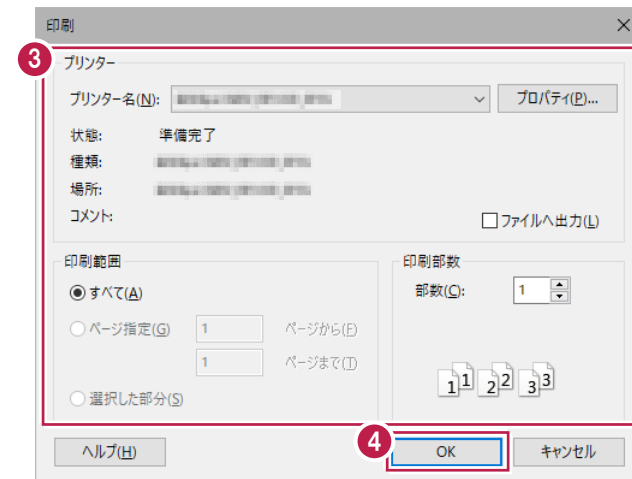
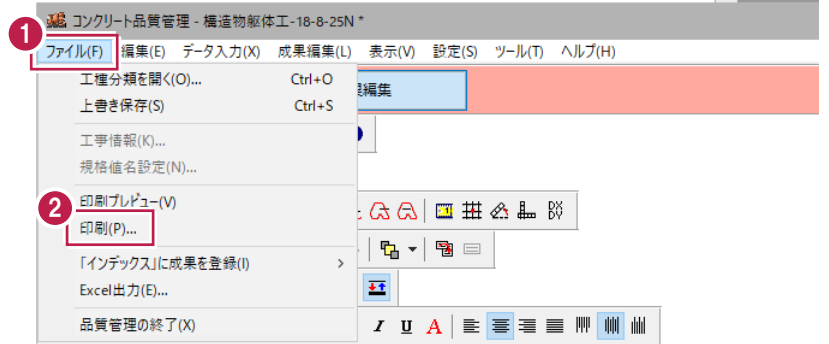
印刷の実行は [データ入力] と [成果編集] のどちらのステージでも可能です。

① メニューバーの [ファイル] をクリックします。

② [印刷] をクリックします。

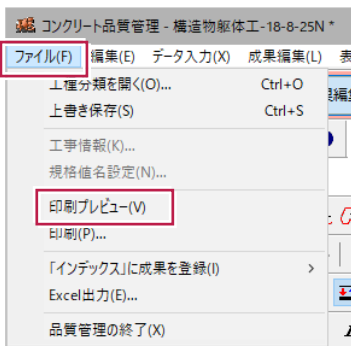
③ 使用するプリンターや印刷範囲、部数などを設定します。

④ [OK] をクリックします



### 印刷プレビューについて

印刷前に [印刷プレビュー] で印刷イメージを確認すると、より正確に印刷をおこなうことができます。



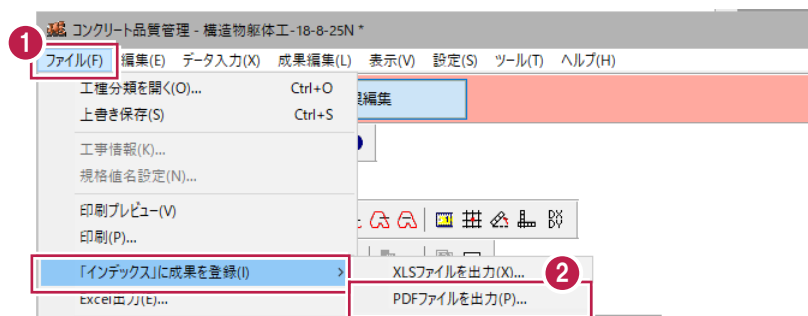
# 6

## インデックスへの成果登録

作成した成果をPDFファイルでインデックスに登録します。

① メニューバーの「ファイル」をクリックします。

② 「[インデックス]に成果を登録」 - 「PDF ファイルを出力」 をクリックします。



③ 「出力設定」 をクリックします。





4 出力するフォーム、温度の出力順などを設定  
します。

5 [OK] をクリックします。

No.	項目名	記号	色	背景色	作成
1	温度				○
2	スランプ				○
3	空気量				○
4	圧縮強度 7日標準				○
5	圧縮強度 7日現場				○
6	圧縮強度 28日標準				○
7	圧縮強度 28日現場				○

No.	打設日	作成
1	2019/09/20	○
2	2019/09/24	○

6 [OK] をクリックします。

No.	項目名	作成
1	コンクリート試験一覧表	○
2	工程能力データシート	○
3	工程能力図(A4横)	○
4	塩分測定表(1項目)	○
5	テストハンマーによる強度測定表	○

### 成果の登録について

インデックスの [成果フォルダ] の [品質管理資料] - [コンクリート品質管理] に登録されます。

# 7

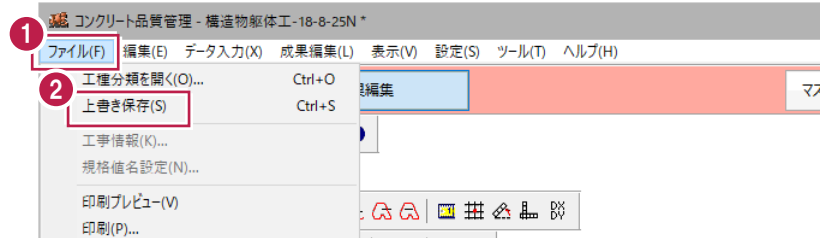
## 工事データの保存

こまめに保存することで、不慮の事故によってシステムダウンした場合の影響を最小限にとどめることができます。各プログラムでデータを入力・変更したときは、各プログラムを終了するたびに保存することをお勧めします。

### 7-1 工事データの保存

工事データを保存します。

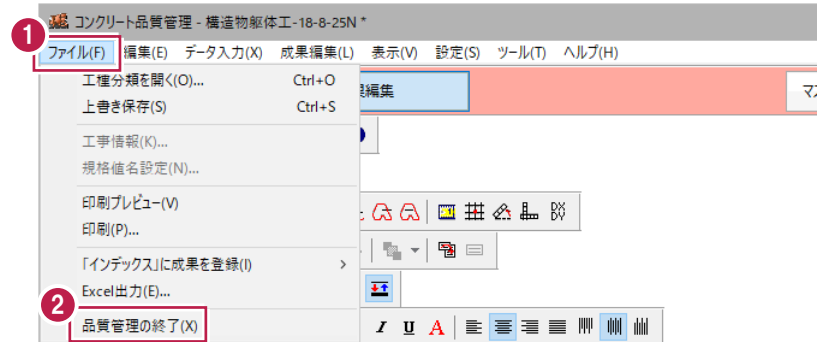
- 1 メニューバーの「ファイル」をクリックします。
- 2 「上書き保存」をクリックします。



### 7-2 コンクリート品質管理の終了

コンクリート品質管理を終了します。

- 1 メニューバーの「ファイル」をクリックします。
- 2 「品質管理の終了」をクリックします。



#### データを開く方法について

保存したデータは、[インデックス] 起動後、保存したデータ名称をダブルクリックすることで開くことができます。

